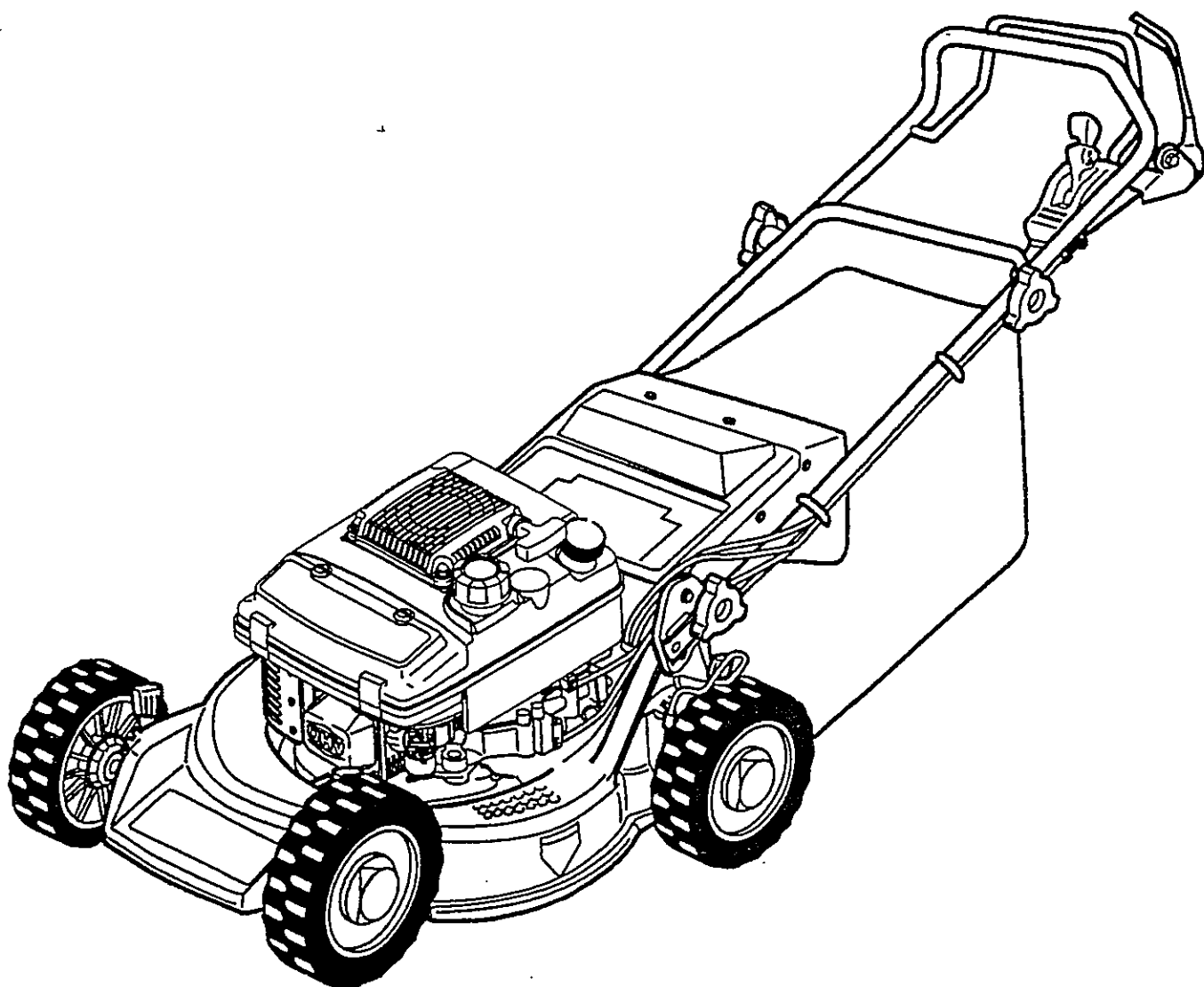


ご使用前に必ずお読みください

# バロネス 草刈機

## GM530A

## 取扱説明書



46011-796  
01-03



株式会社

共栄社

当社『草刈機』をお買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- ・ この取扱説明書は、『草刈機』の取扱い方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みいただき、機械の使い方を理解してから正しい取扱いをしてくださるようお願いいたします。
- ・ 草刈機は芝・雑草を刈るために設計・製造されています。他の目的には絶対に使用しないでください。
- ・ すべての取扱説明書を必ず読んでください。
- ・ エンジンの取り扱いについては、その取扱説明書を必ずお読みください。
- ・ 他人に機械を貸すときには『取扱説明書』をよく読んでもらい取扱い方法や本書にかかっている安全作業の内容をよく理解してから作業するように指導してください。また、必ず、機械と一緒に『取扱説明書』も貸してあげてください。
- ・ 取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。
- ・ 機械は絶対に改造しないでください。
- ・ 品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を予告なく行うことがあります。その際には、本書の内容およびイラスト・写真などの一部が、本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。
- ・ 作業で起こりやすい事故を未然に防止する安全作業をするための注意事項を記しました。詳細は本文の中で△印の安全注意マークを付しておりますので、よくお読みいただき事故のないようにしてください。
- ・ **△ 注意**：この取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こり得る全ての状況や状態を表すものではありません。機械の安全性には十分な注意・配慮をお願いいたします。

目次

	ページ
安全作業説明	2
A. 各部の名称と仕様	9
B. 組立	10
C. 操作方法	10
D. 運転前の点検	11
E. エンジンの始動と停止	12
F. 運転	12
G. 輸送・保管	13
H. 長期保管	13
I. 点検整備一覧表	14
J. 点検整備	15
K. 故障対策表	17

# △安全作業説明



お客様の安全をまもる  
安全確認を習慣づけるようにしましょう。

## △機械を他人に貸すときには・・・

他人に機械を貸すときには、『取扱説明書』をよく読んでもらい取扱い方法や本書に書かれている安全作業のポイントをよく理解してから作業するように指導してください。  
機械と一緒に『取扱説明書』を貸してあげてください。  
親切心から機械を他人に貸して、借りた人が不慣れなために思わぬ事故を起したりすると、せっかくの親切があだとなってしまいます。

## △オプション部品をご使用のときは・・・

当社カタログ及び、取扱説明書に記載してある指定のオプション品を販売店でお求めください。  
特に、刃物は危険ですので当社指定のJIS規格の適合品をお求めください。指定以外のオプション品で思わぬ事故を起したりすると、取り返しのつかない惨事を招くことになります。  
その他不明な点は販売店にご相談の上、取扱い上の注意を十分理解した上でお使いください。

## △ラベルについて

安全な取り扱いについて説明している『△印付ラベル』を機械に貼付しています。  
安全上、特に重要な項目を表示しておりますので、記載内容を守り、安全な作業をしてください。

- ・ラベルをすべて読んでからご使用ください。
- ・機械に貼ってあるラベルが破損したり、塗料がついたり、または読めなくなったら新しいラベルに貼り替えてください。
- ・ラベルが貼ってある部品を交換するときは、新しいラベルも一緒に貼ってください。
- ・ラベルは販売店にてお求めください。(お求めの際は、ラベルに記載されているラベル番号にてお求めください。)

	表示	意味	主な貼付位置
標 識	危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。	
	警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。	
	注意	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあるものを示します。	
記 号		ご使用前に必ず取扱説明書を注意深く熟知するまで読んでいただき、安全に作業してください。	ガード
		作業中に人身事故が起こるおそれがありますので必ず、保護具を着用してください。 (防塵メガネ、保護帽、耳栓など着用)	ガード
		火気厳禁 引火の恐れがありますので、火気を近づけないでください。	ハウジング またはエンジン
		高温部がありますので、触れないでください。	ハウジング またはエンジン
		飛散物がありますので周囲の人やペットに注意してください。	ハウジング
		ブレードで人身事故をおこしますので、作業中は近づかないでください。	ハウジング
		ブレードで人身事故をおこしますので、作業中は近づかないでください。	ハウジング
		作業中は人やペットを近づけないでください。	ガード

### 服装

1. 長袖・長ズボンで裾じまりのよいのものを着用してください。
2. 作業時は、手袋をしてください。
3. 目の保護のため、保護メガネ(ゴーグルなど)を着用してください。
4. 安全靴などすべり止めのついたものを履いてください。
5. 騒音から耳を守るため、適正な保護具(耳栓など)を使用してください。
6. 頭部保護のため、ヘルメットを着用してください。
7. 安全のための保護具はJIS規格などの相当品を使用してください。

### 環境

1. 暑熱寒冷の時は長時間の作業は避けて十分な休憩をとってください。
2. 悪天候・夜間のときは作業は行わないでください。
3. 屋内・換気の悪い場所での運転は行わないでください。排気ガスは有毒です。
4. 作業場所内に空き缶・空き瓶・小石・針金・ボール・切り株などの有無を確認し、飛散の可能性がある場合には完全に除去してから作業を始めてください。
5. 滑りやすいところなど足場の悪いところでの作業は行わないでください。

### 火気厳禁

1. ガソリンを使用しますので、草刈機の近くでタバコやたき火をしないでください。
2. エンジン運転中またはエンジンが熱いときに、燃料タンクキャップをはずしたり、燃料を補給したりしないでください。
3. 補給中、燃料がこぼれたら、完全にふきとってください。
4. 始動は燃料のある場所や、燃料補給の場所から十分離れて行ってください。
5. 燃えやすいものをマフラからの排気に近づけないでください。
6. 燃料は適切な容器に貯蔵し涼しい場所に保管してください。

### 始業前の点検

1. 機械各部の点検を行い、ボルト類のゆるみや欠品がないか、ガソリンやオイルの漏れがないか入念にチェックし異常がないことを確認してください。  
特に、ブレードの取付け部は工具を使用し、ゆるみのないことを確認してください。
2. カバーやガードなどの安全保護具を正しく取付けてください。
3. ブレードに『ひび』『欠け』などの異常がないことを確認してください。
4. 子供や説明を受けていない人には、機械を操作させないでください。
5. 作業現場内を点検し、石や空き缶などの異物を取り除いてください。
6. エンジンを始動する際には周囲に人やペット、自動車などがいないことを確認してください。

### 作業中の注意

1. 作業現場内に人(特に子供)やペットを入れないでください。
2. 運転中に異常な振動や音を感じた場合、ブレードが石や切り株などの異物に当たった場合は、ただちにエンジンを停止し、ブレードが止まったことを確認した後、点検を行ってください。
3. 点検の際は、いかなる場合でも必ずエンジンを停止してから行ってください。
4. グラスバグの着脱などガードを開ける場合は、必ずエンジンを停止させてください。
5. エンジン始動の際は、本機をしっかり保持し、リコイルロープを引っ張ってください。
6. ブレードは鋭く危険です。運転中は絶対に手足をブレードに近づけないでください。
7. 両手でハンドルをしっかり握り、歩いて作業を行ってください。走りながらの作業は絶対に行わないでください。
8. ハウジング内の草などを除去する場合は、必ずエンジンを停止し、ブレードが回転していないことを確認した後、木の棒などを使って行ってください。

## ▲ 安全作業をするために

- 作業中の注意**
9. 作業場を移動する際など草刈り作業以外のときは、必ずブレードを停止させてください。
  10. 砂利道や歩道を横切るときには、必ずブレードを停止させてください。
  11. ブレード回転中は本機を傾けないでください。ブレードがむきだしになり大変危険です。
  12. 刈高さを調整する場合は、エンジンを停止させてから行ってください。
  13. グラスバッグを取付けないで、ガードを開放した状態では作業しないでください。
  14. 高温となる部分(マフラーやエンジンの冷却フィンまわりなど)に草やゴミなどがたまったら、ただちにエンジンを停止し、火傷をしないよう注意し取り除いてください。
  15. 運搬の際など本機を持ち上げる場合は、エンジンを停止させてください。
  16. 本機から離れる場合は、エンジンを停止させ、平坦な場所に本機を置いてください。
  17. グラスバッグに溜まった草はこまめに処理してください。

- 作業後の注意**
1. エンジン停止後は、必ず燃料コックを閉じてください。
  2. エンジン停止直後は、マフラーなどに触れないでください。
  3. 刈り取った草は、所定の場所で処理してください。
  4. 本機を掃除してください。
  5. 点検、調整、修理、掃除などを行う場合には、必ずエンジンを停止して、点火プラグキャップを取り外してから行ってください。
  6. 格納する場合は、エンジンが十分冷えてから火気や可燃物のない場所へ保管してください。
  7. 屋外・水のかかる場所では保管しないでください。
  8. 長期間保管する場合は、燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を完全に抜き取ってください。また、草やほこりを取り除き、金属部分は油を染込ませた布で拭いてください。
  9. 損傷のある場合は、修理してから格納してください。
  10. 修理のための部品・消耗部品を交換する場合は、当社指定の純正部品をご使用ください。
  11. 保管場所は、平坦な屋内で湿気が少なく、チリやゴミが付着しないような場所を選んでください。

## 使用上の注意

本機は一般草刈用として開発された機械ですので業務用または、過酷な条件の場所・密生した芝刈り・草丈30cmを超える草刈りなどで使用されますと、ロータリーナイフクラッチ装置(BBC)がすべり異常発熱・異常磨耗をおこし、故障の原因となりますので下記事項を守りご使用ください。

- ① 作業中、過負荷によりエンジン音が急に下がるまたは、エンジンが急停止するような重負荷作業は避けてください。
- ② ブレードレバーの『ON・OFF』の繰返し操作は、頻繁に行わないでください。
- ③ ブレードレバーが完全にハンドルに当たる位置まで操作し、草刈り作業を行ってください。
- ④ 密生した芝草や長く伸びた芝草を刈る場合は、刈高さを高い位置に調整し、2~3回に分けて作業を行ってください。
- ⑤ 作業中、ロータリーナイフやギヤケースが地面に当たるような起伏の激しい場所では、刈高さを上げて行ってください。
- ⑥ 草溜まりの上などで、ブレードレバーを『ON』にしますと、草詰りの原因になりますので避けてください。
- ⑦ グラスバッグがいっぱいになったまま作業を続けしないでください。

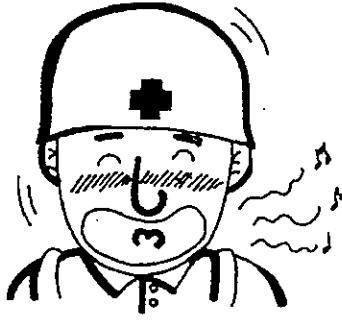
# △作業前にこれだけは守りましょう！

## こんな人は作業しないでください

- 過労、病気、薬物の影響  
その他の理由により、正常な  
運転操作ができない人



- 酒気をおびた人



- 若年者  
未熟練者

- 妊娠している人



今日は作業を  
やめておこう...



## 服装は作業に適していますか？

- 安全作業着の一例

規格にあった保護帽を  
正しく着用し、あご紐を締める。

防塵メガネをつける。

あご紐の結び口は、  
垂らさないようにする。

呼笛は、垂らさずに  
ポケットに入れる。

履物は、保温性、  
滑り止めのあるもの。

耳栓を必ずつける。

作業衣は、暖かく  
身軽に作業できるもの。

腕カバー

手袋は、暖かく、  
柔らかいもので、  
いつも乾いていること。

裾締まりのよいもの。

こんな服装は事故の  
原因になります！



くわえ  
タバコ

巻タオル

腰タオル

サンダル



## △作業前の準備・点検するときは・・・

**必ず守ってください**



**守らないとこんな事故が！**

◇ 取扱説明書を読んで、取扱い上のポイントを十分理解した上でご使用ください。	思わぬ事故や故障を引き起こすこととなります。
◇ 機械各部の点検を行い、ボルト類のゆるみのないことを確認してください。 特に、ブレードの取付け部は工具を使用してゆるみのないことを確認してください。	正常な作業ができなかったり、作業途中で部品が脱落するなどして、障害事故を起こすこととなります。
◇ カバーやガードなどの安全保護具は正しく取付けてください。	飛散物などによって、思わぬ障害事故を起こすこととなります。
◇ ブレードは『ひび』『欠け』など異常がないことを確認してください。	作業中ブレードが折損するなどして、障害事故を起こすこととなります。
◇ 作業場内に空き缶・空き瓶・小石・針金・ボール・切り株などの有無を確認し、飛散の可能性があるものを完全に除去してから作業を始めてください。	飛散物によって、思わぬ障害事故を起こす原因となります。
◇ エンジン・マフラー・燃料タンク周囲に草・ゴミなどが付着していないことを点検してください。 付着している場合は、取り除いてください。	火災の原因となります。
◇ 燃料はガソリンを使用しますので、補給を行う場合はタバコやその他の火気を近づけないようにしてください。	火災の原因となります。
◇ こぼれた燃料やオイルは完全に拭きとってください。	火災の原因となります。
◇ 燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。	火災の原因となります。
◇ 周囲に人・ペットや飛散物により損傷するものがないことを確認してください。	思わぬ事故を引き起こす原因となります。

## △自動車で運搬するときは・・・

**必ず守ってください**



**守らないとこんな事故が！**

◇ 荷台からハンドルなどがはみださないように積んでください。	交通事故など、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
◇ 本機をロープで荷台に固定してください。	思わぬ事故を引き起こす原因となります。
◇ 積み込み・積み降ろしの際、アユミを使用する場合は、強度・幅・長さ(荷台高さの4倍以上)・滑り止め・フックのあるものを使用してください。	アユミが折れたり、外れたりして転倒事故を起こすことがあります。
◇ 本機を持ち上げて、積み込み・積み降ろしを行う際は、2人で作業を行ってください。	本機が落下したりして、障害事故を起こすことがあります。
◇ 積み込み・積み降ろしは、必ずエンジンを停止して行ってください。	思わぬ障害事故を引き起こすこととなります。
◇ 積み込み・積み降ろしの際は、手袋を着用してください。	ブレードでケガをするなど、思わぬ障害事故を起こすことがあります。
◇ 自動車の運転は急加速・急減速を避けて、余裕をもった運転を行ってください。	思わぬ事故を引き起こす原因となります。

# △作業前するときは・・・

**必ず守ってください**



**守らないとこんな事故が！**

◇ 運転中に異常な振動・音を感じたり、ブレードに石や切り株が当たった場合は、ただちにエンジンを停止し、ブレードが止まったことを確認した後、点検してください。	そのまま作業を続けていると思わぬ障害事故や故障を引き起こすことがあります。
◇ 点検する際は、必ずエンジンを停止させてください。	ブレードでケガをするなど、障害事故の原因となります。
◇ 運転中はハウジングに手や足などを近づけないでください。	ブレードで手や足などを切断する障害事故を起こします。
◇ グラスバッグの着脱などガードを開ける際は、必ずエンジンを停止させてください。	飛散物により、思わぬ障害事故を引き起こすことがあります。
◇ ハウジング内の草などを除去する際は、必ずエンジンを停止し、ブレードが回転していないことを確認した後、木の棒などを使って行ってください。	飛散物によって、思わぬ障害事故を起こす原因となります。
◇ 作業場を移動するなど草刈り作業以外のときは、必ずブレードを停止させてください。	思わぬ事故を引き起こすことがあります。
◇ ブレード回転中に本機を傾けないでください。	回転するブレードがむき出しとなり、障害事故など思わぬ事故を引き起こします。
◇ 刈高さ調整は、エンジンを停止させてから行ってください。	思わぬ事故の原因となることがあります。
◇ グラスバッグを取付けない状態でガードを開放して作業を行わないでください。	飛散物により、障害事故を起こす原因となります。
◇ 高温となる部分に草・ゴミなどが詰まったら、ただちにエンジンを停止させ、除去してください。	火災の原因となります。
◇ 25度以上の傾斜地では使用しないでください。	横転の危険があり、障害事故の原因となります。
◇ 点検などのため、本機を傾ける場合はキャブレター側が上になるようにしてください。	始動が困難になるなど、故障の原因となります。
◇ ハンドルを両手でしっかり握り、歩いて作業を行ってください。走りながらの作業は行わないでください。	思わぬ事故を引き起こすことがあります。
◇ エンジン始動の際は、本機をしっかり保持し、リコイルロープを引っ張ってください。	本機が傾いたりして、思わぬ事故を引き起こすことがあります。
◇ 悪天候・夜間の作業は行わないでください。	思わぬ事故や故障の原因となることがあります。
◇ 屋内・換気の悪い場所での運転は行わないでください。	排気ガスにより、人体に悪影響を与えることがあります。
◇ 滑りやすいところなど足場の悪い場所での作業は行わないでください。	転倒したりして、障害事故や故障を引き起こすことがあります。
◇ 傾斜面を刈る際は、傾斜面と平行になるように刈ってください。傾斜面に対して、上下方向には刈らないでください。	本機が傾斜面を転がり落ちたりして、障害事故を引き起こすことがあります。
◇ 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止し、平坦な場所に本機を置いてください。	本機が傾斜面を転がり落ちたりして、障害事故を引き起こすことがあります。
◇ グラスバッグ内に溜まった草は、こまめに処理してください。	性能低下の原因となります。
◇ 子供に使用させたり、遊ばせたりしないでください。また、取扱いの説明を受けていない人に使用させないでください。	思わぬ事故を引き起こす原因となります。
◇ 暑熱寒冷の際は、長時間の作業は避け、適度な休憩をとってください。	過労の原因となります。



## △1日の作業が終わったら・・・

**必ず守ってください**



**守らないとこんな事故が！**

◇ エンジンを停止し、燃料コックを閉じてください。	不意に動き出したりして、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
◇ エンジン停止直後は、マフラーなどには触れないでください。	火傷します。
◇ 刈り取った草は所定の場所で処理してください。	芝をいためたり、環境破壊の原因となります。
◇ エンジン周りにたまった草などを取り除き本機を掃除してください。	次回ご使用のとき、正常な作業ができなかったり、性能低下・故障の原因となることがあります。
◇ 格納する場合はエンジンが十分冷えてから火気や可燃物のない場所で保管してください。	火災の原因となることがあります。
◇ 屋外・水のかかる場所では保管しないでください。	故障の原因となります。
◇ 各部の点検を行ってください。	次回ご使用のとき、正常な作業ができなかったり、性能低下・故障の原因となることがあります。
◇ 修理のための部品・消耗部品を交換する場合は、当社指定の純正部品をご使用ください。	正常な作業ができなかったり、性能低下・故障の原因となることがあります。
◇ 作業着・保護具についたホコリなどを払い落とし、手洗い・うがい・洗顔を行ってください。	健康管理面に悪影響を与え、病気になることがあります。

## △長期格納するときは・・・

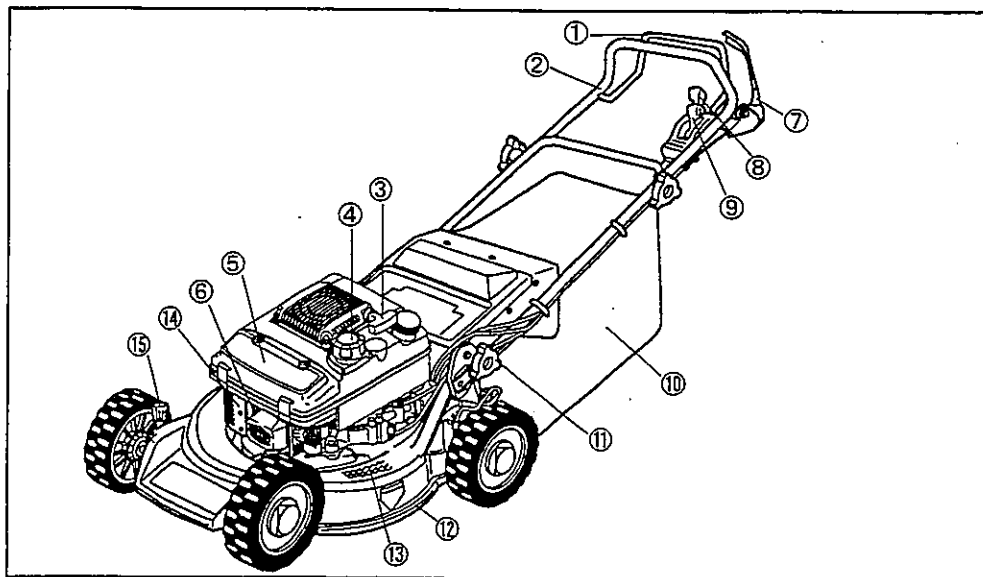
**必ず守ってください**



**守らないとこんな事故が！**

◇ 燃料タンクおよびキャブレター内に残っている燃料を完全に抜き取ってください。	次回ご使用のとき、始動できないなど故障の原因や火災の原因となることがあります。
◇ 点火プラグキャップをはずしてください。	思わぬ事故を引き起こす原因となることがあります。
◇ 本機をきれいに掃除して、保管してください	次回ご使用のとき、正常な作業ができなかったり、性能低下・故障の原因となることがあります。
◇ 屋外での保管はしないでください。	雨に濡れるなどして、故障の原因となります。
◇ 直射日光の当たる場所では、保管しないでください。	樹脂・ゴム部品などに悪影響を与え、機能低下の原因となります。
◇ 平坦な場所で車止めをして保管してください。	不意に動いたりして、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
◇ 各部に破損などがないことを確認してください。部品交換を行う場合は、必ず当社指定の純正部品をご使用ください。	次回ご使用のとき、正常な作業ができなくなることがあります。
◇ 火気の近くでは保管しないでください。	熱のため変形したり、火災の原因となることがあります。
◇ 水や油のかかる可能性のある場所では、保管しないでください。	故障の原因となります。
◇ 保管する際は、本機にホコリなどがかからないよう、カバーをかけてください。	故障の原因となることがあります。

## A. 各部の名称と仕様



- ①. 走行クラッチレバー
- ②. ハンドル
- ③. リコイルスタータ
- ④. 燃料タンクキャップ
- ⑤. エアクリーナ
- ⑥. 点火プラグ
- ⑦. ブレードレバー
- ⑧. チェンジレバー
- ⑨. スロットルレバー
- ⑩. グラスバッグ
- ⑪. ノブナット
- ⑫. プロテクタ
- ⑬. ステップ
- ⑭. マフラー
- ⑮. ホイール調節レバー

型式	GM530A	
エンジン	FC180V	
エンジン型式	空冷4サイクル立軸OHVガソリンエンジン	
排気量/内径×行程	(cm <sup>3</sup> /mm)	182/68×50
連続定格回転速度	(rpm)	3,000
最大出力	(kW)	4.4 ※1
	(PS)	(6.0)
最大トルク	(Nm)	10.3 ※2
	(kgf·m)	(1.1)
点火方式	無接点式マグネト点火	
エンジンオイル容量	(ℓ)	0.65
燃料タンク容量	(ℓ)	2.4
点火プラグ	BPR5ES (NGK)	
外形寸法(長×幅×高)	(mm)	1,690×580×1,050
乾燥質量	(kg)	50
グラスバッグ容量	(ℓ)	75
刈幅	(mm)	530

※1. kW=0.7355×PS

※2. Nm=9.8×kgf·m

この仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。

## B. 組立

### 1. ハンドルの組み付け(図-1)

- (1) ハンドル(下)とハンドルブラケットのノッチを合わせ、ノブナットで締め付けてください。
- (2) ハンドル(上)をハンドル(下)に合わせ、ノブナットとボルトでしっかりと締め付けてください。
- (3) スロットルワイヤ・コントロールケーブルをハンドルにワイヤバンドで固定してください。

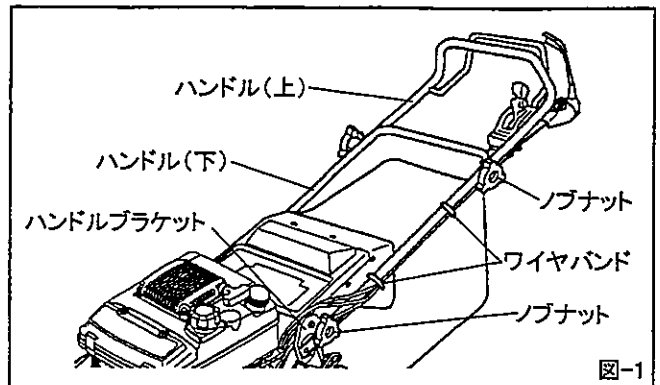


図-1

### 2. グラスバッグの組み付け(図-2)

- (1) フレームにグラスバッグを被せ、取っ手が外に出る様に、フックを組み付けてください。
- (2) グラスバッグを本機のハウジングへ取付けてください。

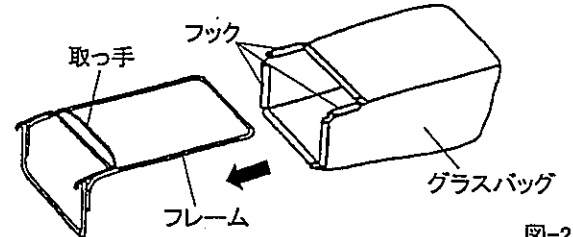


図-2

### 3. カバー(マルチ刈り用)の組み付け(図-3)

- (1) カバー両側の穴にそれぞれアブソーバを組み付けてください。
- (2) ガードにカバーを6本のボルトで固定してください。

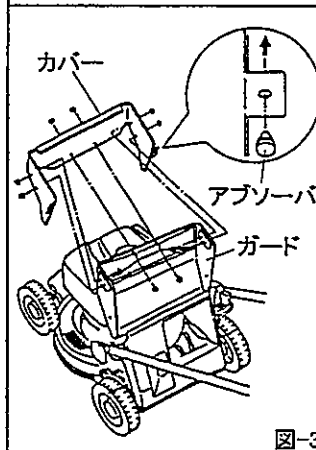


図-3

※ ガードの開閉は静かに行ってください。

## C. 操作方法

### 1. スロットルレバー(図-4)

エンジン始動位置.....[I \ ]  
 エンジン回転調節位置.....[MAX ]  
 エンジン停止位置.....[STOP]

### 2. チェンジレバー(図-4)

前方2段変速が行えます。 [高速] 1.2(m/sec)

[低速] 0.8(m/sec)

走行中のチェンジレバー操作は行わないでください。

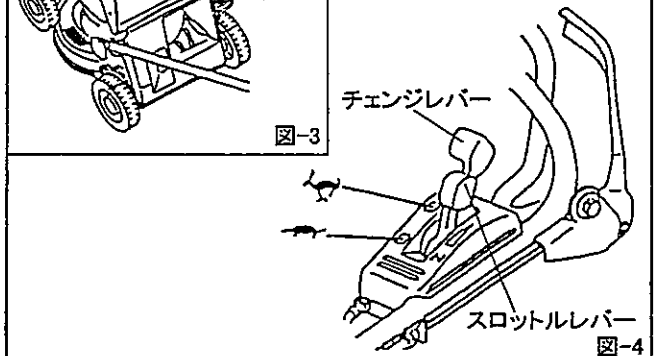


図-4

### 3. ブレードレバー(図-5)

- (1) レバーを矢印①の方向にブレードレバーの内側まで操作してください。
- (2) レバーが②の状態、ブレードレバーを前方(矢印③の方向)へ倒すとブレードが回転し、放すと停止します。  
 <ブレードレバーはハンドルに当たるまで倒してください。>

※ ブレードレバーのみの操作ではブレードは回転しません。(図-5-1)

ブレードレバーの『ON-OFF』繰返し操作は頻繁に行わないでください。

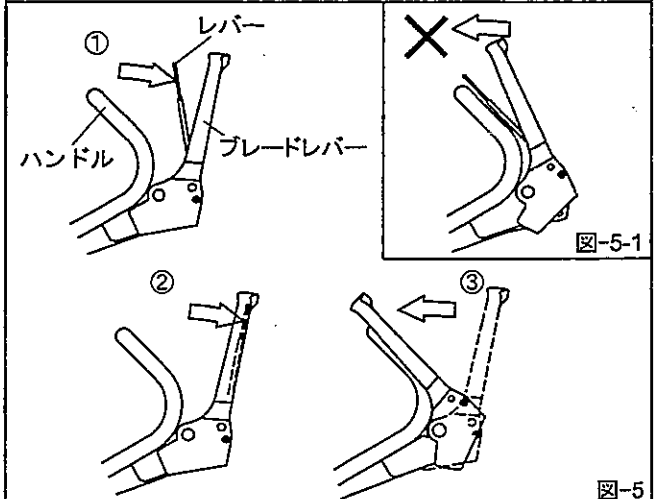


図-5

### 4. 走行クラッチレバー(図-6)

- (1) 走行クラッチレバーを前方へ倒すと走行し、レバーを放すと走行停止します。  
 <走行レバーはハンドルに当たるまで倒してください。>

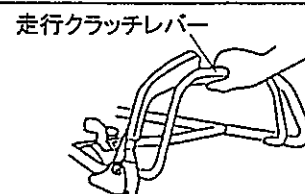


図-6

## D. 運転前の点検

### 1. エンジンオイルの点検(図-7)

エンジンオイルはAPI分類SC級以上のオイルを使用し、気温に合わせて使い分けてください。(表-1)  
オイルゲージでオイル量を量り、適量範囲にオイルが付着していなければ、給油してください。

工場出荷時にはオイルは入っていません。

### 2. 燃料補給(図-7)

燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用します。燃料タンクキャップを開け、ガソリンをこぼさないように給油し、燃料タンクキャップをしっかりと閉めます。

### 3. ハンドル高さの調整(図-8)

ハンドル高さは無段階の調整ができます。

- (1) 左右ハンドルブラケットのボルトを均等に緩めます。
- (2) 操作しやすい高さにハンドルを動かし、最良の位置にセットしてください。
- (3) ボルトをしっかりと締め付けてください。

### 4. グラスバッグの点検(図-9)

- (1) グラスバッグが適切に組み付けられているか点検してください。
- (2) グラスバッグが磨耗や破損していないことを点検してください。磨耗や破損したグラスバッグは当社指定の新しい部品と交換してください。

**注意** グラスバッグは必ず定められた位置に取付けてください。

### 5. ブレードの点検(図-10)

- (1) 必ず、ブレード及び取付けボルトが、磨耗や破損していないか点検してください。磨耗や破損したブレードやボルトは当社指定の新しい部品と交換してください。
- (2) ブレードの取付けボルトが指定トルクで締め付けられているか点検してください。

※ 指定トルク: 29~39 Nm (300~400kgfcm)

**注意** 安全のため、ブレード取付け・取り外しは、手袋を着用してください。

### 6. ボルト・ナット点検

ボルト・ナット等の『ゆるみ』・『脱落』がないか点検してください。

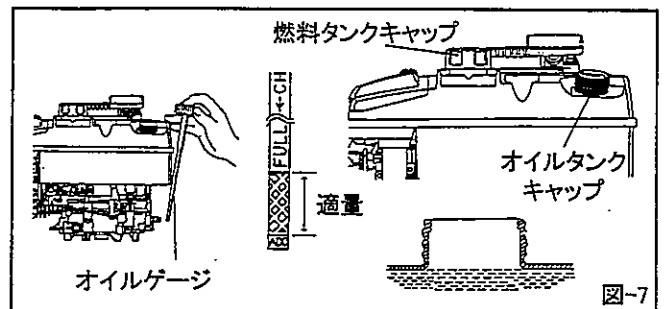


図-7

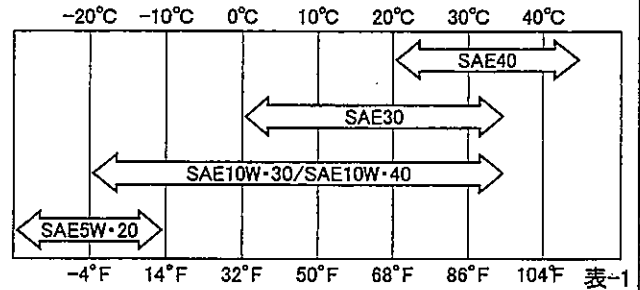


表-1

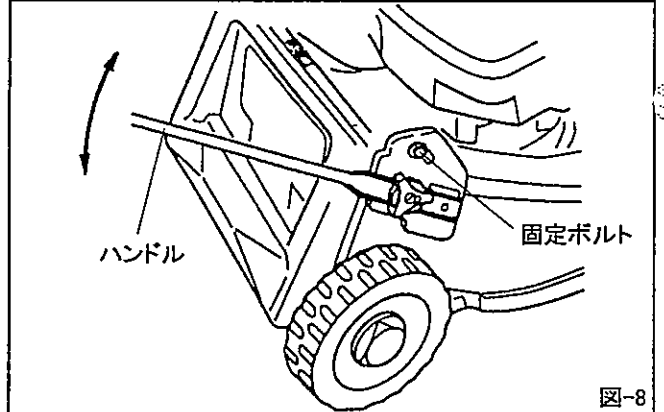


図-8

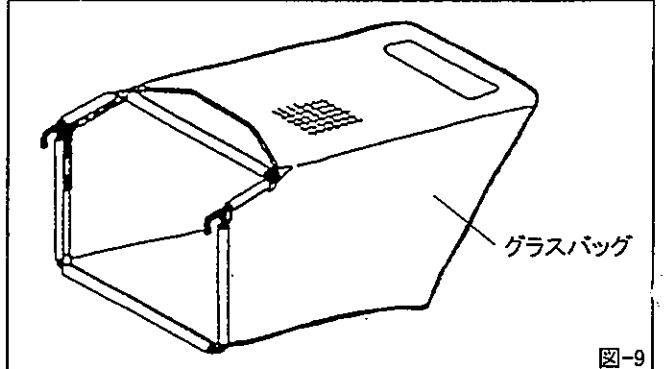


図-9

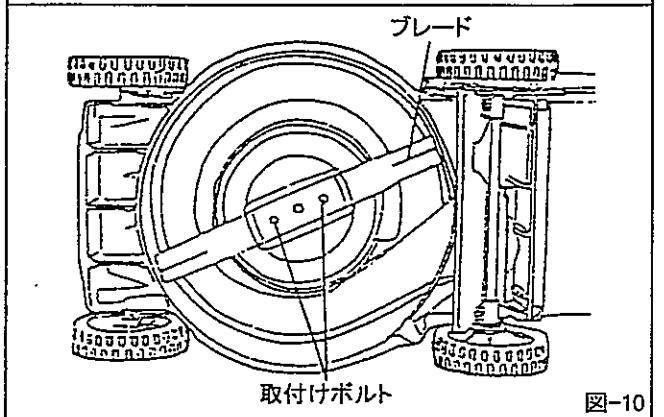




図-10

## E. エンジンの始動と停止

### 1. エンジンの始動(図-11・12・13)

- (1) 燃料コックを『O』の位置に回してください。
- (2) スロットルレバーを『I \ \ I』の位置にしてください。
- (3) 足をハウジングのステップに掛けてください。
- (4) リコイルスタータを圧縮のあるところまで引き、一旦戻してから勢いよく引っ張ってください。
- (5) エンジンが暖まったらスロットルレバーを『MAX 』の高速位置に調整してください。

- ・ スロットルレバー『MAX 』の低速位置で草を刈ることはできません。
- ・ 始動直後はエンジンの各部に潤滑油が十分にまわっていませんので、エンジンを暖めた後ゆっくりと回転を上げてください。

### 2. エンジンの停止(図-11.12)

- (1) 走行クラッチレバーとブレードレバーを放してください。
- (2) スロットルレバーを『STOP』の位置にしてください。
- (3) 燃料コックを『S』の位置に回して全閉にしてください。

スロットルレバーが『I \ \ I』の位置で停止させないでください。再始動が困難になります。

## F. ⚠注意 運転

- (1) 指定のガード・カバー・グラスバグ、その他の安全保護具を取り付けてください。
- (2) 凹凸な場所での作業は、特に注意が必要です。草刈機が傾き、ブレードがむき出しになり、石や草が投げ出されることがあります。前後の車輪はしっかりと地面に接地させて作業を行ってください。
- (3) 草刈機を放置する場合には、必ずエンジンを停止させてください。
- (4) 使用中、石などの硬いものにブレードが当たった場合、あるいは異常振動・音を感じた場合には、ただちにエンジンを停止させ点検を行ってください。
- (5) 斜面での作業は下記の点に注意してください。
  - ① 斜面に対して横方向に刈ってください。上下方向には刈らないでください。
  - ② 斜面での方向転換は慎重に行ってください。
  - ③ 急斜面での作業は行わないでください。

### 1. ⚠注意 刈高さ調整(図-13・14)

- (1) 必ず、エンジンを停止させてから行ってください。
- (2) 前後輪のアジャストレバーを車輪方向(外側)へ開き、ノッチから外して刈高さを調整します。前後輪のアジャストレバーは同じ位置のノッチへ入れてください。刈高さは7段階調整が可能です。  
<16mm・25mm・35mm・46mm・57mm・67mm・76mm>

**⚠注意** 右前車輪の刈高さ調整の際、マフラーに触れない様、注意してください。

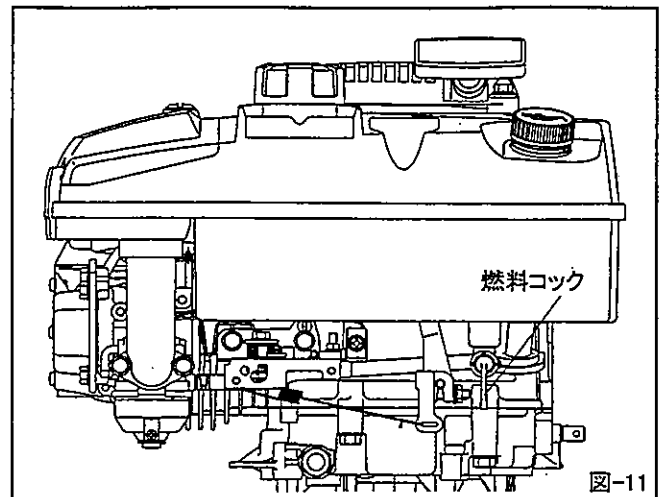


図-11

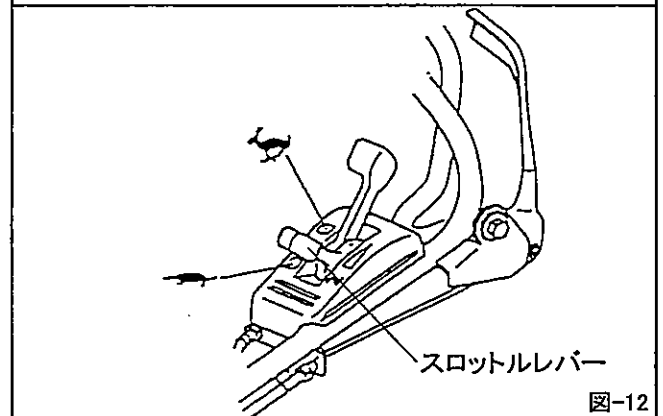


図-12

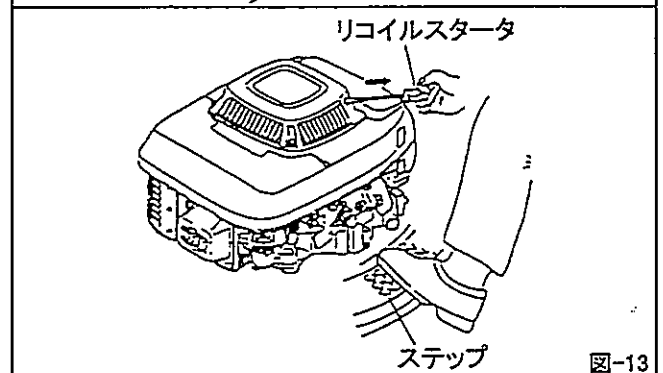


図-13

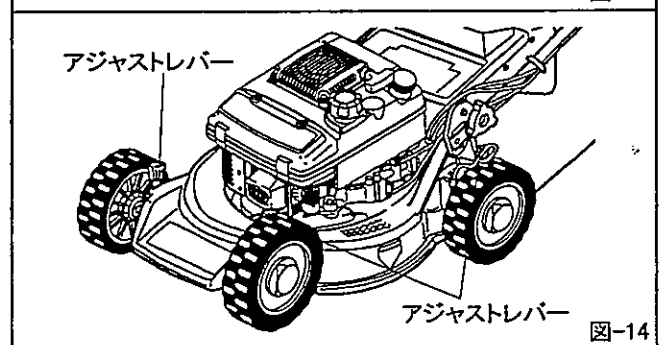


図-14

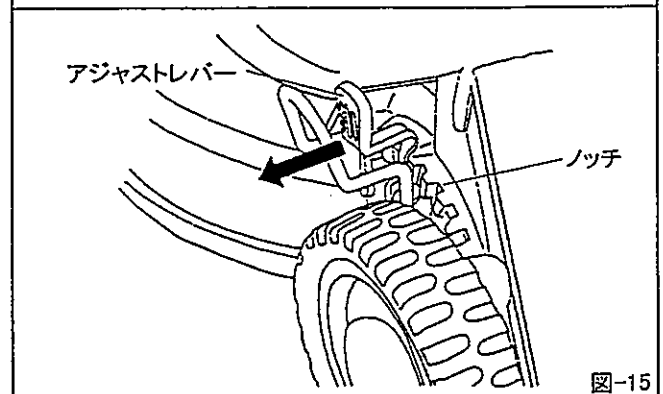


図-15

## 2. グラスバグの取り付け・取り外し(図-16)

### (1) 取り外し

- ① 必ず、エンジンを停止させてください。
- ② ガードを開き、グラスバグを持ち上げながら後方へ取り外してください。

### (2) 取り付け

- ① ガードを開き、グラスバグ(フレームの先端)をハウジングに取り付けてください。
- ② グラスバグが適切な位置に取り付けられていることを確認してください。

※ ガードの開閉は静かに行ってください。

グラスバグの目詰まりは収集性能を低下させ、  
湿ったグラスバグは目詰まりが早くなります。

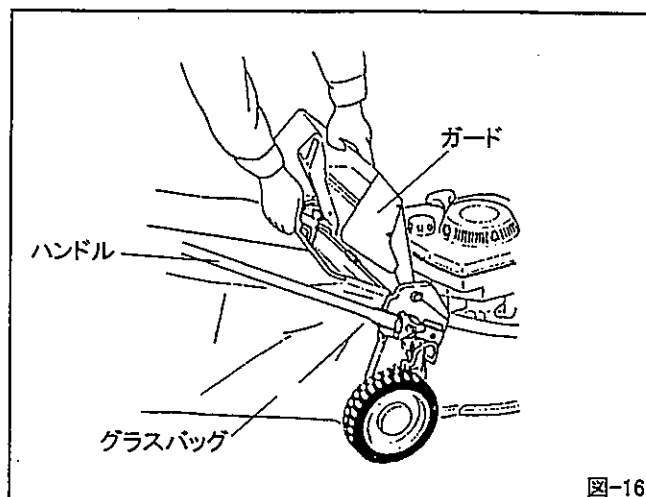


図-16

## G. 輸送・保管

ノブナットを緩めて、ハンドルを折りたたむことができます。  
(図-17)

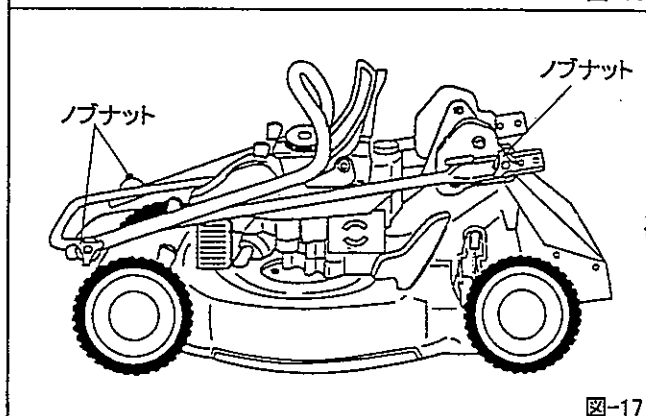


図-17

## F. 長期保管

- (1) 草刈機を30日以上ご使用されない場合は、燃料変質によるエンジン始動不良または運転不調にならないように、燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を、完全に抜き取ってください。(図-18・19)  
スロットルレバーは『STOP』の位置にしてください。
- (2) 草やホコリを取り除き本機を掃除してください。金属部分は油を染み込ませた布で拭いてください。
- (3) 点火プラグを外して、シリンダ内にエンジンオイルを少量(10cc程度)注入してください。  
リコイルスタータを2~3回引いて、点火プラグを取り付け圧縮のあるところまでリコイルスタータを引いてください。
- (4) エンジンオイルを交換してください。
- (5) 破損した部品・消耗部品は、当社指定の新しい部品に交換してください。
- (6) エンジンが十分冷えてから、草刈機にカバーをかけて、乾燥したホコリのない、平坦な場所に保管してください。

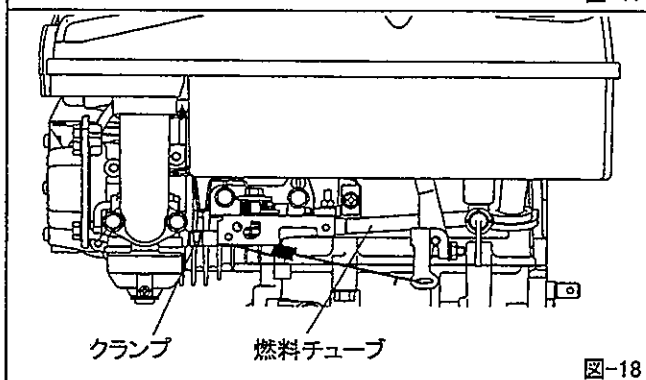


図-18

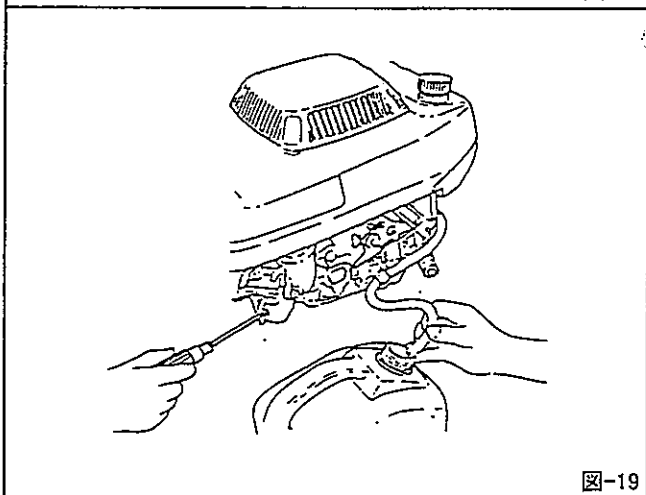


図-19

# I. △ 注意 点検整備一覧表

運転時間		使用毎	25時間	50時間	100時間
エンジンオイル	レベル点検	○			
	交換			○ ※	
エアクリーナ点検および清掃			○		
ボルト・ナットの点検・調整		○			
燃料点検および補給		○			
点火プラグの清掃および再調整		○			
ブレードおよびブレード取付けボルトの点検		○			
グラスバッグの点検および清掃		○			
スロットルワイヤの調整					○
走行クラッチ用ケーブルの調整				○	
ブレード用ケーブルの点検・調整				○	
BBC装置の点検(ブレードストップ)				○ ※※	
チェンジ用ケーブルの点検				○	
バルブ間隔の点検および再調整					○ ※※
燃焼室の清掃					○ ※※
燃料タンクと燃料ストレナーの清掃					○ ※※
燃料ホースの点検					○

※ 新品エンジンの場合、使用直後はオイルの汚損が早いため、初回のみ25時間で交換してください。

※※ この点検項目は整備技術および特殊工具が必要ですので、販売店へご依頼ください。

## J. 点検整備

### 1. エンジンオイルの交換(図-20・21)

エンジンオイルはエンジンが温かい状態で抜き取ってください。

- (1) 燃料コックを『S』の位置に回し、閉じます。
- (2) オイルキャップを外します。
- (3) 草刈機本体を傾け、ドレンプラグを緩めエンジンオイルを排出します。
- (4) ドレンプラグを締め付け、オイルゲージの上限まで新しいエンジンオイルを入れてください。

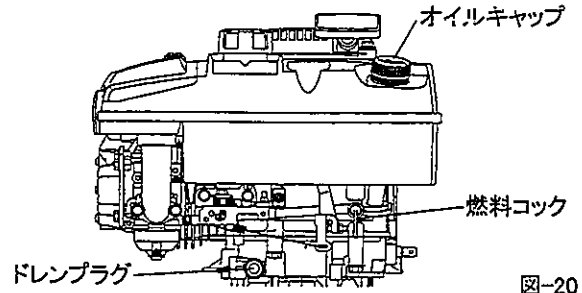


図-20

### 2. エアクリーナ点検(図-22)

- (1) スポンジエレメントは洗剤で洗い、きれいな水ですすぎ、完全に乾かしてください。新しいエンジンオイルに浸し、かたく絞ってください。(目安:25時間毎)
- (2) 紙エレメントは軽くたたいてチリを落としてください。汚れがひどいときは洗剤で洗い、きれいな水ですすぎ、完全に乾かしてください。(目安:100時間毎)  
また、紙エレメントは1年または300時間使用毎に新品と交換してください。

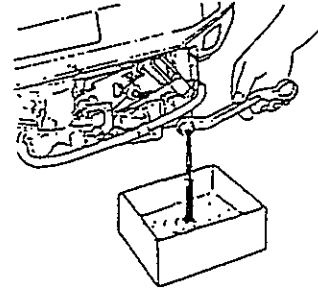


図-21

### 3. 点火プラグ(図-23)

点火プラグは『NGK BPR5ES』を使用します。

- (1) キャップを外し、点火プラグを取り外してください。
- (2) 点火プラグにひどくカーボンが付着している、または絶縁体にひび割れがあったり欠けている場合は、新品の点火プラグと交換してください。
- (3) 電極に付着したカーボンを取り除き、紙ヤスリで磨いてください。  
電極のスキマを『0.7mm』に調整してください。

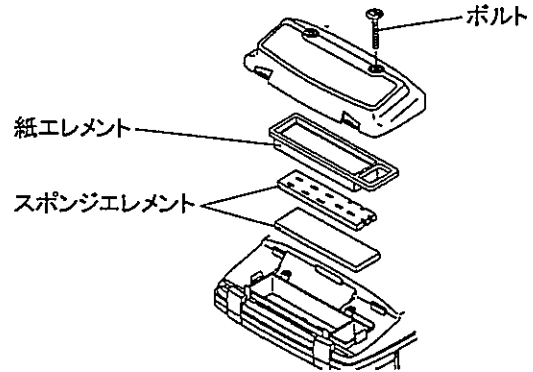


図-22

### 4. ⚠ 注意 ブレードの交換と研磨(図-24・25)

- (1) エンジンのキャブレター側が上になるように本機を傾けてブレード取付けボルトを外します。
- (2) ブレード・取付けボルトに『磨耗』『破損』『変形』がある場合には、当社指定の新しい部品と交換してください。
- (3) ブレードは鋭い刃先でなければ芝・草はきれいに刈れません。すり減った刃先はヤスリで再研磨してください。

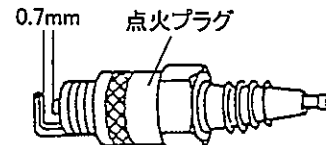


図-23

研磨したブレードは、バランスチェックが必要です。中央の穴にドライバなどを通して、ブレードが水平になるように研磨してバランスを取ってください。

- (4) エンジンの出力軸(PTO軸)まわりのゴミや草を取り除いてください。
- (5) ブレードを取り付け、取付けボルトを指定トルクで締め付けてください。

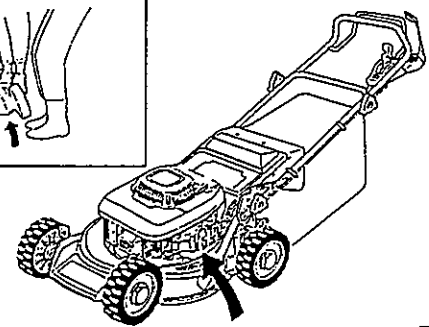


図-24

※指定トルク:29~39Nm(300~400kgfcm)

⚠ 注意 安全のため、ブレード取付け・取り外しは、手袋を着用してください。ブレードを交換する前にエンジンを停止し、点火プラグキャップを外してください。

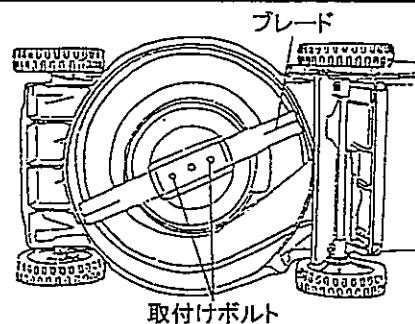


図-25



5. スロットルワイヤの調整(図-26・27・28)

- (1) スロットルレバーが『1』の位置でチョークが作動するように調整します。  
スロットルレバーを『MAX』の高速位置にしたとき、エンジンのコントロールパネルの調整穴とレバーが合っていることを確認してください。
- (2) 調整が必要な場合、スロットルワイヤのロックナットを緩めて、アジャスタを回して調節します。  
最適な位置に合わせロックナットを締め付けます。
- (3) エンジンを始動し、スロットルレバーを『STOP』の位置にし、エンジンが確実に停止することを確認してください。

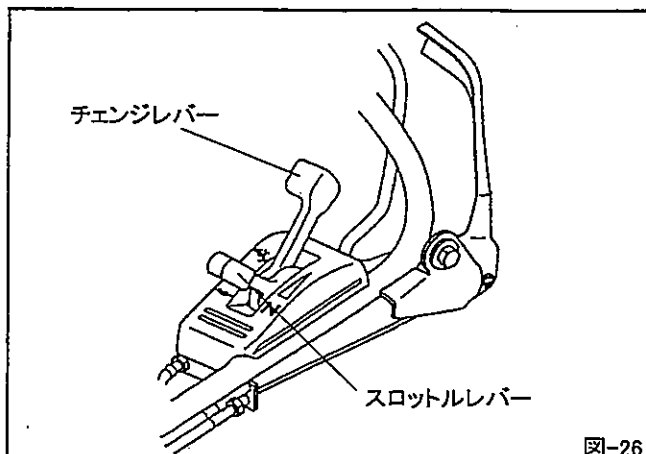


図-26

6. **△**注意 ブレードレバーの調整(図-28・29)

- (1) 図-29のようにブレードレバーの遊びを1~3mmに調整します。
- (2) 調整が必要な場合、ブレード用ケーブルのロックナットを緩めて、アジャスタを回して調整します。  
最適な位置に合わせロックナットを締め付けます。
- (3) エンジンを始動し、ブレードレバーを放すと確実にブレードが停止することを確認してください。

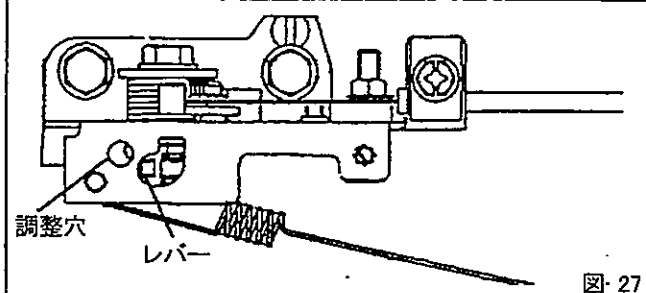


図-27

7. 走行クラッチレバーの調整(図-28・30)

- (1) 図-30のように走行クラッチレバー遊びを1~5mmに調整します。
- (2) 調整が必要な場合、走行クラッチ用ケーブルのロックナットを緩めて、アジャスタを回して調整します。  
最適な位置に合わせてロックナットを締め付けます。
- (3) 走行クラッチレバーを放して、後方に草刈機を引っ張ることができることを確認してください。

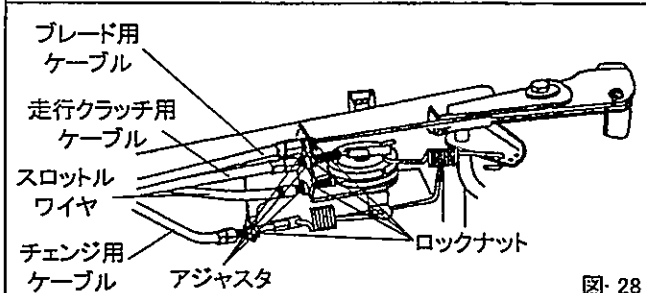


図-28

8. チェンジレバーの調整(図-28・31)

- (1) 図-31のようにチェンジレバー遊びを1~3mmに調整します。
- (2) 調整が必要な場合、チェンジ用ケーブルのロックナットを緩めて、アジャスタを回して調整します。  
最適な位置に合わせてロックナットを締め付けます。
- (3) エンジンを始動し、チェンジレバーを操作し、走行速度が2段に切り換わることを確認してください。

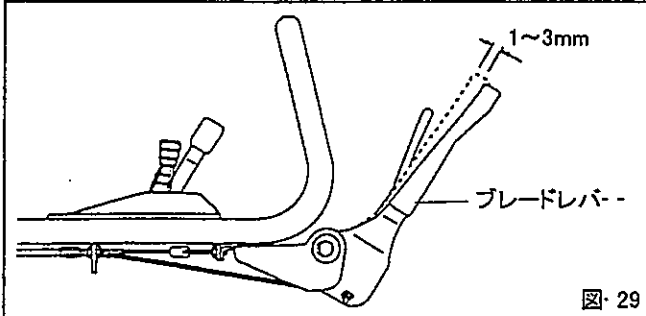


図-29

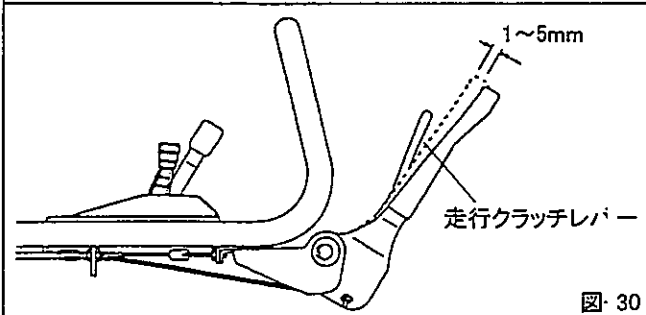


図-30

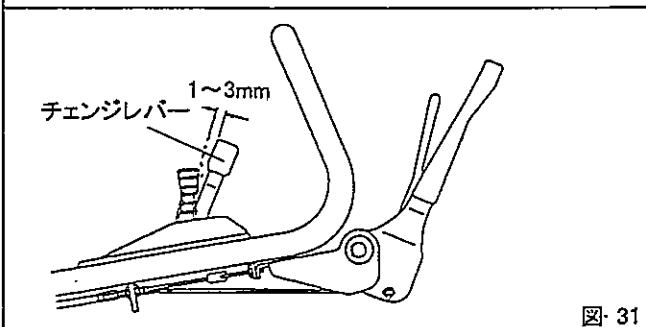


図-31

## K. 故障対策表

故障	原因	対策
始動困難	チョーク作動不良 燃料不足、燃料変質、水の混入 燃料ストレーナの詰まり 点火システムユニットの欠陥 シリンダ内に燃料の流れ込みすぎ シリンダ内にエンジンオイルの流れ込み エアクリーナの汚れ キャブレターの詰まり ガスケットの漏れ バルブクリアランスの不適切	スロットルワイヤ調整 点検・清掃 清掃 交換 キャブレター交換 スパークプラグ清掃 清掃 清掃 交換 調整
出力不足	スロットル開度不足 バルブクリアランス不適切 シリンダピストン摩耗 エアクリーナの汚れ ガバナ調整不良 スパークプラグの欠陥	スロットルワイヤ調整 調整 交換 清掃または交換 清掃 清掃・調整または交換
高速不安定	点火システムユニットの欠陥 キャブレターの欠陥 エアクリーナの汚れ	調整 調整または交換 調整または交換
低速不安定	ガバナ調整不良 デコンプ作動不良 ロータリーナイフクラッチ装置(BBC)作動不良	交換 調整または交換 調整または交換
停止不良	スイッチターミナル汚れ・変形 スロットルコントロールレバー作動不良	清掃または交換 調整または交換
エンジン過熱	エンジンオイル不足 リコイルまたは冷却フィン部のゴミ詰まり	補充 清掃

スロットルレバーを『I\』の位置にしてリコイルスタータを連続して引くと、ガソリンの吸い込みすぎが発生する恐れがあります。

エンジンが温まっているときには、スロットルレバーを『MAX ■■■』の位置で始動させてください。

草刈機を傾ける際には、燃料コックを閉じて、オイル交換の場合以外はキャブレター側が上になるように傾けてください。反対にマフラー側が上になるように傾けると、エンジンオイルがキャブレターに流れ込みエンジンの始動ができなくなる恐れがあります。

①

②



株式会社

共栄社

愛知県豊川市美幸町1-26

TEL <0533>84-1221(代)

FAX <0533>84-1220